

## 大雨や台風、大雪に備えよう



洪水



土砂災害



雪災



電停・突風

自然から、台風や大雪、大雨などに備える準備(災害準備)を始めることが大切です。特に、緊急時、情報が共有された時は、安全対策に心がけましょう。

## 家族で防災会話を周りで話し合ってみよう

- ① 緊急避難場所はどこか、避難場所までの道順を確認しよう。
- ② 家族がはなればなれになったときの連絡方法を決めておこう。
- ③ 非常持ち出し品の置き場所を決め、みんなで確認しよう。
- ④ 家の中でどこが安全か、また危険なところはないか、チェックしよう。

## 電話が通じない！

災害時の連絡方法

**災害時のダイヤル171**

「災害や火災にどう対処しようか」というそんなときのために、「災害対策ダイヤル171」の使い方を覚えておきましょう。

災害時の緊急よりを  
**公衆回線  
公衆電話**

**メンバーの役割**

【災害対策ダイヤル171】

災害対策ダイヤル171は、災害時の緊急よりを公衆回線、公衆電話からかけられます。

災害対策ダイヤルセンター

携帯電話は地震などによる大きな揺れがわたる場合「災害対策ダイヤル」という扱いになり、通話ができなくなる場合があります。

しかし、公衆電話でかけられます。(原則10分以内が通話の上限があります)



## 保護者の皆様へ

家への近くの避難場所はどこか、また避難場所までの道順も、家族で確認してください。緊急の連絡先には家族、知人の記入をお願いします。

住所		
名前		
生年月日		
性別		
保護者名	電話番号	
保護者名	電話番号	
緊急連絡先(家族、知人など)		
連絡先		
学校連絡先		

ひびく出版

この冊子は、災害対策センター、青森県防災教育推進部「はらしのサライ/ひびく」が「防災災害への備え」

(平成24年5月作成)



保存版  
小学生  
高学年用

## 秋田県を襲った自然災害

秋田県を襲った津波の被害  
(写真提供：秋田県庁)

秋田県を襲った大雪の被害  
-2008年1月13日、14日の大雪で、秋田県各地で大雪被害が発生しました。  
(写真提供：秋田県庁)

# 災害から 命をまもるために

もしも津波がくれば、  
どおしにかつてくる  
ことが震災といって  
忘れられぬことを  
「震災」といいます。



## 東日本大震災

「震災がおきたとき  
おしおきは  
どうしたらいいの  
かみんなから教えて  
おねがいし  
たいね」



東日本大震災  
-2011年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震発生  
(写真提供：NHK)

秋田県教育委員会

# 自分の安全を確保し、自分の命は自分で守ろう!

## 地震がおこったら...

### 学校にいるときに

#### 教室では



- つくえの下にもぐって、頭を守る。
- つくえのおしを両手でつかもう。
- あわてて教室の外に、とび出さないようにしよう。
- 出入り口に寄らないようにしよう。

#### ろう下や階段では



- 窓ガラスからはなれよう。
- 天井の天井の下からはなれよう。
- 近くの教室にこげて、机の下にもぐろう。
- 階段付近に寄らないようにしよう。

### 学校へのいきかえり

#### せまいみちでは



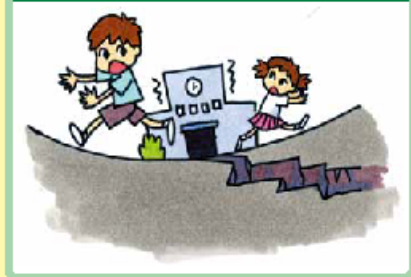
- ブロックベいや自動はんはい機からはなれよう。
- 窓ガラスが落ちてくる可能性があるビルや家からはなれよう。

#### 歩道橋や橋の上では



- すばやく安全な場所へ移動しよう。

### 体育館やグラウンドでは



- グラウンドでは、地震に注意しよう。
- 運動場やサッカーのゴールなどからはなれよう。
- グラウンドでも体育館でも、大きなゆれを感じたら、まん中にいよう。

### ひなんするときのやくそく お・か・し・も



- 「おさない、かげない、しゃべらない、もどらない」のやくそくをもちて先生のいうことにしがいましょう。

ゆれがおもあつて、ひなんするときには、振り向きを避けよう。

### 海の近くでは



- 津波が来るかもしれません。すぐにできるだけ高い所へにげよう。

### 山道では



- 落石やがけくずれに注意しよう。

崖の上とろへは、近づかず、かまへて、おちたものを避けよう。



**ゆれがおもあつて、ひなんするとき**

- 自分の身の安全が確保できたら
- 自分の身の安全が確保できたら
- 自分の身の安全が確保できたら

**津波について**

- ①津波は、地震が起きてから、しばらく経つてくることがあります。
- ②津波の初波での到達時間は、ジェットコースターの速さにもなります。
- ③津波は、走り出し驚きます。最初の波が一番大きいとは限りません。
- ④津波は、場所によって、高さがあります。
- ⑤たとえ80cm程度の高さでも、立ってられないほどのいよぐがあります。
- ⑥津波は、川や海をきかぬります。海況でなくとも危険です。

「海」の近くでは、津波が来るかもしれません。すぐにできるだけ高い所へにげよう。